

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

そうじゃあと

## 総社跡

新高  
見梁  
市市

総社市

早倉矢井浅里笠  
島敷掛原口庄岡  
町市町市市町市



場所

・総社市総社



時代

・平安時代



指定年月日

・平成6(1994)年  
10月24日



所有

・総社宮



し せき

## この史跡について

総社跡は、市名の由来となった備中国の「総社」のこです。律令制下、各国に中央から派遣された国司は行財政や司法・軍事などをつかさどるほか、国内の神社を管理し祀ることも重要な職務の一つでした。

国司は、それぞれの神社を一宮から順に巡拝していましたが、平安時代後期ごろになると、国府の近くにすべての神社をまとめ祀るようになり、これを総社としました。

総社という文字が最初にみられるのは、「時範記」という文献で、康和元(1099)年2月15日条の因幡国の総社です。このころには、総社制の実体が伴っていたものと考えられます。総社では、国司の着任儀式が行なわれており、国の行事上、重要な施設であったことがわかります。

備中国の総社に関しては、平安・鎌倉時代の資料が残されていないため詳細は不明ですが、他の国の総社と同様に12世紀には存在していたものと考えられます。